



# ふくろう通心

## 今、被災地では…

東日本大震災から1年以上が過ぎました。

弘前在住で、被災地でボランティアをした人は少なくとも千人以上、弘前にいて、被災地を支援した人は（募金など）数えきれません。

震災後、色々な方とお話しさせて頂いて、震災直後に「何かしたい、何かしなければ」そう思いながらも、これまで何もしていないことを気にしている人が沢山いることに気付かされました。では、本当に何もしていなかったのだろうか？

スーパーで「被災地産」の商品を選んで購入した人、節電を心掛けるようになった人、これまで以上に仕事を頑張ろうと思った人などなど・・・ボランティアという言葉では表せないかも知れませんが、それぞれ自分ができることを考えた行動は、間接的に被災地支援に繋がっていたのではないのでしょうか？

6月に訪れた大槌町（被災地）では、まだ遺体捜索が行われていました。被災地支援活動が続けている「NPO遠野まごころネット」の菊池新一さんは雇用を生み出すことが大きな課題だと（特に男性の）、そのことに奮闘していました。宝来館の女将さんは「これまで沢山の方々に支援して頂きました。これからは、私たちが恩を返す番です。」と話されました。

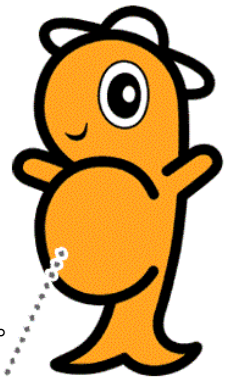
今回の震災では、ボランティアの方々から「恩返し」という言葉（阪神大震災でお世話になったからなど）を多く聞きました。

そして、今、被災地から「恩返し」という言葉が少しずつ聞かれるようになりました。一人一人の状況は違います。まだ、時が止まったままの方もいます。これからも被災地に思いをはせながら、あの日の、あの出来事を忘れないでいたいと思いました。

市民参画センター ボランティア担当：小田切宰子

被災地：岩手県野田村

ゆるキャラ：のんちゃん



弘前市では現在も月1~2回程度の割合で、野田村へボランティアを派遣しています。詳細はボランティア支援センターにお問い合わせください。

## 第2回市民ボランティア交流まつり

祭 楽しもう！交流まつり 祭

10月21日(日)10時~15時に「第2回市民ボランティア交流まつり」が市民参画センターで開催されます。体験あり、販売あり、発表あり、講演あり・・・普段ボランティア活動をしている団体(個人)がボランティアについて市民に広く知ってもらい、楽しんでもらおうと色々計画を立てています。軽食や、おやつの販売もありますので喫茶コーナーで、ひと時を過ごしてみたいはいかがですか？

### 訂正とお詫び

前回の「ふくろう通心37号」表面『ワンニャンを愛する会』の記事で一部訂正があります。『避妊手術にはある程度の公的援助の制度もあり・・・』と掲載いたしましたが、『公的援助』の制度は今現在青森県では取り止めているとのことです。訂正してお詫び申し上げます。

## ここにこんなボランティア



施設に入所しているお年寄りの髪を無料でカットしている人がいます。15年前から美容師の渋谷江津子さんが大清水ホームで月に一度活動しています。一日に約15人カットするそうですが、あっという間にサッパリした髪になり、蒸しタオルで顔を拭かれた後のお年寄りの笑顔が印象的でした。

### 渋谷さんのお話

ボランティアを始めたのは25年前になりますが、美容院を夫の転勤で閉じ、専業主婦になったことがきっかけでした。

見知らぬ土地で、自分の新たな居場所を求めるように始めたのが散髪ボランティアでした。その後も転勤を繰り返すのですが、どこの地でも散髪ボランティアとして受け入れてもらえ、私が抜けた後も函館と釧路で今でも仲間が続いています。

研修でヨーロッパに行ったことがあります。キリスト系の国の主婦たちは、一時間でも空いた時間をボランティアに使うのが普通で、小さい頃から「限られた大切な時間を自分だけのために使うのではなく人のために使う」という教育がされているそうです。当然ながら、どこの施設もボランティアの受け入れ態勢が整い、そのために風通しがよく、家族の出入りも多く、施設は明るくユーモアにあふれていたのが印象にあります。

弘前に帰り15年になりました。最初2人で始めたボランティアが今は6人になりました。カットする人、車椅子を押す人、顔を剃る人、床を掃く人、お話す人、と自然に役割ができ、童謡やナツメロをかけながら、時に口ずさみ、楽しくやっています。

ボランティアには、自発的という意味をもあるそうです。やりたいことをやってきて、気がついたらその中にボランティアもあった、というさりげないやり方で、細く長くがモットーです。



## 豆知識



### トマトジュースお試しあれ

「健康に良い」「ダイエットに効果がある」など、何かと話題になっているトマトジュースですが、疲労の軽減にも効果があるそうです。

トマトに含まれるアミノ酸やクエン酸が関係しているらしく、疲労物質の発生を抑える効果が期待できるようです。ただし、発生したものを消す効果はないという事なので、飲む時は運動後ではなく、運動する前や合間がお勧めです。

スポーツの秋、疲れを残さないためにも、トマトジュースを試してみたいかがでしょうか。

### 編集後記



様々な感動や勇気をもたらしたロンドン五輪の暑かった夏が終わりました。

現地に取材に行っていた新聞記者によると、地元の人を中心としたボランティアが気軽に接してくれて、迷ったそぶりを見せると「ハロー」と声を掛けてくれたそうです。

観光都市弘前の一市民として、観光客の迷ったそぶりを見掛けたら、思い切って声を掛けてみようかと思う夏でした。 新米スタッフ Y

<製作>市民ボランティアスタッフ<製作協力>弘前市ボランティア支援センター  
〒036-8355 弘前市大字元寺町1-13 弘前市民参画センター2階  
TEL:38-5595 FAX:36-1822  
HP:<http://www.hi-it/~vsc>  
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。